

コミュニティデザインラボってなに?

地域共生社会の実現に向け、2020年に「自分たちのまちを自分たちで楽しく」をコンセプトに、三股町社会福祉協議会内に設立されました。「住民主体で地域課題を解決する」ため、2025年までに200の活動と2025人のプレイヤーを創出する目標を掲げ、昨年達成しました。住民主体活動の最前線で、多様な景色を見せてもらった5年間。食べ物に困ってもユーモアを忘れない人や、ツツツ言いながらも新たな企てを続ける人、誰かのためにを心から楽しむ人など、2,000人を超える一人ひとりのプレイヤーとの出会いを糧に、新しい福祉の未来について日夜考えている、ゆるーい実践支援研究室です。

「福祉は潜む展」とは

窓口には、確かに困っている人たちがやってきます。その一方で、自ら足を運ぶことができない人や、自分が福祉の対象とは思ってもいない人たちも存在します。私たちは、あえて「福祉を潜ませる」ことで、あるひとり親家庭とつながりました。それをきっかけに実践の中で潜ませていたはずの福祉は、日々の何気ない営みの中にも「潜んでいる」のだと確信するようになったのです。暮らしと福祉を地続きにすることで、地域はもっと面白くなる。そんな実感がありました。だからこそ、私たちが実践の中で目にしてきた「暮らしの中に潜む福祉」を皆さんにお伝えしたい。本展示は、こうした想いから、お茶の水女子大学のライフ×アート展（ひとの生・生活・人生に生まれるアートをとらえる展示会）と共に開催します。



参加申込

¥2,500

会場参加 または アーカイブ配信

資料集代

QRコードのフォームよりそれぞれお申込下さい。

※メールでも受け付けています。

community.design.lab.mimata@gmail.com

【オリジナル資料集】

- ・5周年マガジン「現場からは以上です」
- ・コミュニティデザインラボ発行フリーペーパー数種
- ・その他、限定ステッカー等

※小学生以下入場無料（オリジナル資料集は無し）

申込は
こちらから
会場参加



アーカイブ 配信



展示を楽しむためのオリジナル資料

5周年マガジン「現場からは以上です」



画像は
イメージです

コミュニティデザインラボの5年間を、一冊にぎゅっと詰め込みました。重ねてきた実践や試行錯誤、そこから見えてきた考え方、そしてあまり語ってこなかった組織の裏側や日常まで、フルカラー 60ページに収録。展示作品や体感プログラム、トークとあわせて読むことで、見て・聞いて・感じたこととマガジンの内容がつながり、体験がより深まるはずです。マガジンは当展示で初公開。お楽しみに。

会場マップ

お茶の水女子大学

東京都文京区大塚 2-1-1
国際交流留学生プラザ

交通アクセス

- 東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅より 徒歩7分
- 東京メトロ有楽町線「護国寺」駅より 徒歩8分
- 都営バス「大塚2丁目」停留所下車 徒歩1分



お問合せ先

コミュニティデザインラボ

Tel. 0986-52-1246

社会福祉法人三股町社会福祉協議会
宮崎県北諸県郡三股町大字樺山3384番地2

当日のお問合せ

Tel. 080-4315-3012 (大江)

Tel. 090-4986-6275 (今西)

自分たちのまちを
自分たちで楽しく

COMMUNITY
DESIGN LAB.



福祉は 潜む展

2026. 2.14 (土) - 15 (日)

展示 14 (土)、15 (日) 体感型プログラム 14 (土)

9時間耐久トークセッション（アーカイブ配信あり） 15 (日)

お茶の水女子大学国際交流留学生プラザ

共同主催：お茶の水女子大学人間発達教育科学研究所、お茶の水女子大学保育マネジメント研究会
三股町社会福祉協議会 コミュニティデザインラボ



COMMUNITY
DESIGN LAB.

Instagram
@commulab.mimata
随时更新しています



アンタ、そもそも福祉やがね。

タイムテーブル

2.14
10:30 -

2.15
8:15 -

福祉は潜む展 ヒト・モノ・コト展示

場所：2階 commons 2

うまくいったことも、迷ったことも、試行錯誤のあれこれを大公開。5年間の実践の中で出会った「コト・ヒト・モノ」、そして歩んできた「プロセス」を、秘蔵エピソードの解説付きでまるごと可視化します。これまで制作した冊子やグラフィックなどをはじめ、実践の裏側をのぞき見できる展示の数々をお楽しみあれ。



2.14
土

福祉は潜む展 体感型プログラム

場所：2階 commons 2

11:00 ~ 17:00 ※10:30 開場受付 11:00 オープニングセレモニー

開会の舞 AYART



12:30 自衛隊を探せ 隠れ方講座



15:00 お節介百人一首会議



16:30 DJ 椅子取りゲーム



9時間耐久

福祉は潜む展 トークセッション

場所：2階 多目的ホール 各トーク定員 100名

G：ゲスト F：ファシリテーター C：コミュラボメンバー

2.15
日

8:15 開場・受付開始

9:00 オープニングトーク

1 09:20 - 10:30

「コミュラボの軌跡」

G：室田信一、山下裕子
F：原口悠、梅本政隆
C：松崎亮、平野由記、堀田大智

2 10:40 - 11:50

「コミュラボの居場所づくり」

G：湯浅誠、脇雅昭
F：原口悠、室田信一
C：松崎亮、平野由記、大江樹

3 12:00 - 13:10

「コミュラボの人の繋ぎ方」

G：山口陽登、石田光規
F：宮里暁美、大谷穂高
C：松崎亮、平野由記、大松珠

4 13:20 - 14:30

「デザインが生んだもの」

G：石塚理華、小池智歌
F：刑部育子、浅野佳子
C：平野由記、河野喬、大松珠

5 14:40 - 15:50

「政策への応答と提案」

G：石塚理華、小池智歌
F：大西連、梅本政隆
C：松崎亮、平野由記、堀田大智

6 16:00 - 17:30

「コミュラボの未来」

G：湯浅誠、梅本政隆
F：原口悠、浅野佳子
C：松崎亮、平野由記、大江樹

※内容は変更になる場合があります

トークセッション ゲスト & ファシリテーター



Session 2 | 6

湯浅 誠

社会活動家・東京大学特任教授

こども食堂の普及に取り組みながら、居場所について考えました。つながりを感じられる地域・社会をつくるために何ができるのか、考えていきたいと思っています。
www.musubie.org



Session 3

大谷 穂高

京都市まちづくり協働コーディネーター（右京区担当）

立命館大学卒業後、個人事業主として若者の地域参画を支援。令和7年度より京都市まちづくり協働コーディネーター（右京区）として、地域活動や多様な主体の連携促進に取り組む。



Session 5

大西 連

認定 NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい理事長

内閣府孤独・孤立対策推進参与。2010年頃より、生活困窮者への相談支援活動に携わりながら、日本国内の貧困問題、生活保護や社会保障制度について、現場からの声を発信、政策提言している。



Session 3

山口 陽登

建築家・大阪公立大学講師

大阪を拠点に「ウェルカミングな場所へ」を掲げ活動する建築家。YAP で設計に携わり、上町荘を運営。大阪公立大学でマイナリティの居場所研究も行う。
www.y-a-p.jp



Session 3

石田 光規

早稲田大学 教授

東京都立大学大学院社会科学研究科単位取得退学、博士（社会学）。大妻女子大学、早稲田大学を経て2016年より現職。孤立やつながりづくりなど現代社会の人間関係を研究。著書に『自己決定の落とし穴』（筑摩書房、2025年）ほか。



Session 1 | 2

室田 信一

東京都立大学人文社会学部 准教授

留学先の米国でコミュニティ活動に目覚め、移民支援に従事。帰国後博士号取得、茨木市のNPOで活動。地域実践や専門性を研究し、2025年より居場所「みんなの家たきち」を運営。
<https://shin1.stirps.net/>



Session 3

宮里 暁美

お茶の水女子大学 お茶大アカデミック・プロダクション教授

文京区立お茶の水女子大学こども園元園長、一般社団法人あそび・そだち・からだラボ代表。人と人が出会いで起こる物語を楽しみに日々を過ごす。関心事は、保育学、環境による教育、子育て支援、素材の可能性、創るが身近にある生活。



Session 4

刑部 育子

お茶の水女子大学基幹研究院 教授

保育・幼児教育学を専門とし、文京区立お茶の水女子大学こども園長を兼務。キャンパス全体を園庭と見立てた「ポケット・ガーデン創生プロジェクト」を展開。学生と子どもが協働し、花や木を育てる実践に取り組む。



Session 1

山下 裕子

ひと・ネットワーククリエイター / 跳めニスト

2014年より“ひと・ネットワーククリエイター”として活動。地域に自然と足を運びたくなる場づくりを支援する。2023年より“アートと都市と公共空間研究会”メンバー。
<https://arts-city-commons.jp>



Session 2

脇 雅昭

参議院議員 / よんなな会発起人

宮崎県出身。東京大学法学院修了後、総務省入省。熊本・奈良川県庁に向けし観光部長等を歴任。官民連携を軸に「よんなな会」「オンライン市役所」を立ち上げ、地方創生の基盤づくりに取り組む。



Session 1 | 2 | 6

原口 悠

一般社団法人大牟田未来共創センター（ボニボニ）代表理事

一人ひとりの存在が大事にされるもっと生きやすい社会を実現したいと思い、各地での試行錯誤を経て仲間とボニボニを立ち上げました。社会課題を生み出す“社会の仕組みと現実とのずれ”を解消する試みを続けています。



Session 1 | 5 | 6

梅本 政隆

株式会社地域創生 Co デザイン研究所 ポリフォニックパートナー

社会福祉士。老人ホームで介護士、地域包括支援センターで社会福祉士として従事。制度や仕組みにかかわりたいと思い行政職員になるも難しさを実感。民間に転職し、地域創生に取り組む日々。単著『社会福祉士になろう!』（青弓社）



Session 4 | 6

浅野 佳子

nicoedit 代表

福岡市を拠点とする編集者・ライター。「ニコエディット」として、企画・編集・執筆活動を行なう。近年はインタビューを中心に、アートや福祉、地域活動に関する取材・寄稿を数多く手がけている。
nicoedit.tumblr.com



Session 4 | 5

石塚 理華

一般社団法人公共とデザイン 共同代表

多様なわたしたちによる新しい公共を目指し、ソーシャルイノベーションスタジオ「公共とデザイン」を共同設立。住民や生活者、課題当事者とともにプロジェクト創出・制度や関係、社会システムの編み直しに取り組む。

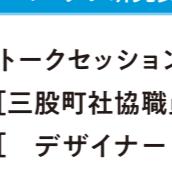


Session 4 | 5

小池 智歌

内閣府政策統括官（共生・共助担当）付参事官（高齢社会対策担当）

2005年に内閣府入府。消費者政策や防災、公文書管理等を担当。2025年7月より高齢社会対策担当として、世代を超えた住民参加による地域課題解決の仕組みづくりに取り組む。
<https://www8.cao.go.jp/kourei/tasedai/index.html>



Session 4

コミュラボ研究員

トークセッション登壇者

[三股町社協職員]松崎亮、堀田大智、大江樹、大松珠

[デザイナー]平野由記、河野喬